京都大学 学術情報メディアセンター先端的大規模計算利用サービス誓約書

　　年　　月　　日

国立大学法人　京都大学

学術情報メディアセンター

センター長　岡部 寿男　殿

住　所

企業名

代表者職名

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　　　代表者印

当機関に所属する下記の者を責任者とする一群が，「京都大学 学術情報メディアセンター 先端的大規模計算利用サービス」に採択された利用課題実施に際し，

・ 京都大学学術情報メディアセンターセンター利用規程に従うこと

・ 採択課題の目的にのみ利用すること

・ 平和利用のみに限ること

・ 人権および利益保護への配慮を行うこと

・ 文部科学省「生命倫理・安全に対する取組」に適合すること

・ 経済産業省「安全保障貿易管理について」に適合すること

・ 課題終了後，利用報告書を速やかに報告すること＊

を遵守することを誓約します。上記に反した場合の責は当社が負うものとします。

利用課題名：

利用責任者の所属・職名・氏名：

（参考）

京都大学学術情報メディアセンター利用規程

https://www.iimc.kyoto-u.ac.jp/services/comp/riyoukitei.pdf

経済産業省「安全保障貿易管理について」

https://www.meti.go.jp/policy/anpo/seminer/shiryo/setsumei\_anpokanri.pdf

文部科学省「生命倫理・安全に対する取組」

https://www.lifescience.mext.go.jp/bioethics/index.html

＊利用報告書は原則公開とします。ただし，実施者が特許取得などの理由により公開の延期を希望し，認められた場合は，公開を最大２年間延長することができます。利用成果が特許出願，特許取得，製品化につながった場合は，各段階において速やかにその概要を報告してください。